

白金学区相談窓口事業



【白金学区】

■世帯数：2,093 世帯

■人 口：4,116 人

■面 積：0.681 km²

平成 24 年 4 月 1 日現在

1 活動・取り組みの内容

- ・地域の助け合いをサポートする相談窓口として、白金コミュニティセンターにおいて「相談窓口事業」を行っている。窓口は週2回開設。
- ・「住民による住民のための取組」「どんな小さな悩み事もOK」「相談窓口事業を通じた人間関係づくり」をキーワードに活動している。
- ・相談内容は荷物の運搬から子育ての悩み、話し相手まで幅広く対応する。
- ・相談窓口に協力をしていただける方に対して、ボランティアへの登録呼びかけを行っている。
- ・ボランティア交流講習会の開催

【住民へのPR方法】

チラシの各戸配布、回覧、ポケットティッシュの配布や地域の店舗による周知

【アピールポイント】

相談窓口に設置されたパソコン活用のために開催されたパソコン教室など副産物もあり、多方面にわたって学区の活動が活発となった。

2 きっかけ、背景

平成 21 年度に策定された「第2次昭和区社会福祉協議会地域福祉活動計画」により、平成 22 年に説明会が行われ、平成 23 年6月から開始した。地域に根付いた活動として「白金学区相談窓口」が開設された。

3 実施の体制

(1) 運営メンバー

区政協力委員、町内会・自治会長、
民生委員児童委員、保健委員、消防
団員、PTA、女性団体・女性会、子
ども会、スポーツ推進委員
計約 20 人

(2) 他団体との協力

白金女性会、民生委員

(3) 運営協力

社会福祉協議会と連携した住民に
よる取り組みであり、住民のボラン
ティア活動への理解や協力が必要。

4 実施のスケジュール

H21 年 「第2次昭和区社会福祉協議会地域
福祉活動計画」が策定される。
その一環として相談窓口プロジェク
トチーム発足。白金学区での開設決定

H22 年 開設に向けて準備事務が始まる

H23 年 6 月 「相談窓口事業」スタート

H24 年 1 月 「ボランティア座談会」開催

5 月 「窓口交流会」開催

5 成果と課題

(1) 成果・効果

- ・ 地域の呼びかけにより、人とのつながりが深まった。気軽な雑談等により、安心できる場所として定着しつつある。ボランティア活動により多くの交流ができた。

(2) 苦労した点

- ・ 住民の理解を得ること、他団体との協力。
- ・ 相談内容によっては、解決方法に苦慮する場合がある。

(3) 今後の課題・展望

- ・ 活動を継続していくため、担い手や活動資金の確保、他団体との協力が課題である。
- ・ 相談窓口の周知を依頼している店舗等に出向き、引き続き、啓発を依頼するなど、活発な活動の継続に努める。

